

老

老

死

死

病

病

老



老病死の先へ

～安心して老いるために～

病

病

死

死

老

人は生きていく限り、必ず老い、病にかかり、死にます。どれだけ医学が進歩しようと、科学技術が発達しようと、私たちは、老病死を完全にコントロールし、それから免れることはできません。だからこそ、私たちは、いつの時代においても、老病死を自分自身のこととして考えることが重要なこととなります。

今年のシンポジウム「ともに生きる力」では、老病死のなか特に老に焦点をあてて、仏教の叡智に導かれながら深く考えていきます。

日時

2020年2月1日(土) 13時～16時40分(12時30分開場)

講師

なかがき まさよし
中垣昌美 氏

講題「なぜ、今、老を問いなおすのか」

のむら こうじ
野村康治 氏

講題「老病死の現実を生きるということ」

テーマ

老病死の先へ
～安心して老いるために～

会場

キャンパスプラザ京都
第1講義室(5階)

入場無料

主催

浄土真宗本願寺派総合研究所
京都市下京区堺町92
TEL075-371-9244 FAX075-371-5761
Webサイト <http://j-soken.jp/>



浄土真宗本願寺派
総合研究所
Twitter



【テーマ】

老病死の先へ～安心して老いるために～

【講師】



なかがき まさよし

中垣昌美氏

1955年、龍谷大学文学部研究科(旧制)終了。その後、渡米し、U.C.L.A.、ミシガン大学大学院を経て、南カリフォルニア大学大学院博士課程修了。米国家族関係研究所・結婚カウンセラー養成課程修了。スウェーデン国ウプサラ大学並びにウメオ大学での結婚・離婚問題研究を経て、帰国。龍谷大学専任講師、助教授、教授を歴任。同短期大学部長、大学評議員、社会学部長、法人理事を歴任。1998年、龍谷大学定年退職。

浄土真宗本願寺派善宗寺住職。

著書に、『海野幸徳集』(鳳凰院)、『社会福祉学の基礎』(さんえい出版)、『社会福祉対象論』(同)、『仏教社会福祉論考』(法蔵館)、その他論文多数。



のむら こうじ

野村康治氏

龍谷大学文学部卒業。日本福祉大学中央福祉専門学校 社会福祉士科通信課程修了。現在、社会福祉法人至心会理事長、淡路老人介護福祉施設ビハラ施設長、東淀川区施設連絡協議会副委員長をつとめる。龍谷大学実践真宗学研究科非常勤講師、中央仏教学院非常勤講師、社会福祉法人龍谷会理事・常照園監事・アソカ幼稚園理事。

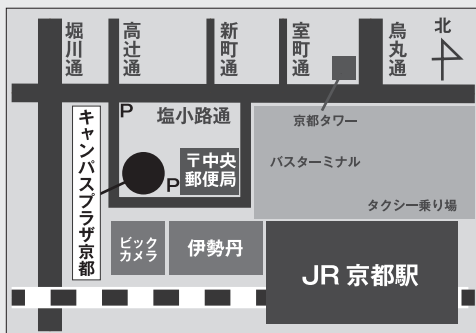
浄土真宗本願寺派瑞松寺住職。

【会場へのアクセス】

キャンパスプラザ京都

京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939
京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」下車。徒歩5分。

<http://www.consortium.or.jp/about-cp-kyoto>



【プログラム】

- | | |
|-------------|--|
| 12:30 | 受付開始 |
| 13:00 | 開会 |
| 13:10-14:10 | 講演①(60分) 中垣昌美氏 講題「なぜ、今、老を問いなおすのか」 |
| 14:20-15:20 | 講演②(60分) 野村康治氏 講題「老病死の現実を生きるということ」 |
| 15:30-16:30 | シンポジウム(60分) |
| 16:40 | 閉会 |

【申し込み・お問合せ】

浄土真宗本願寺派総合研究所

申し込み方法

申込書に必要事項をご記入の上、下記まで郵送またはFAXにてお申し込み下さい。

総合研究所のWebサイトからもお申込みいただけます。

電話でのお申込は致しておりません。

荒天等による中止の場合は、総合研究所Webサイト、ツイッターにてお知らせいたします。ご確認の上ご参加ください。インターネットをご利用でない場合は、当研究所までお問合せください。

送付先 〒600-8349京都市下京区堺町92
TEL 075-371-9244
FAX 075-371-5761
Webサイト <http://j-soken.jp/>

申込書

| | |
|--------|------------|
| (ふりがな) | 〒 |
| 氏名 | 住所 |
| 電話番号 | e-mailアドレス |